

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 38号
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会
発行日 2004. 3. 23
編集 芳村恵子
〒680-0002 鳥取市浜坂東 1-10-15

「保育士になりたい」

馬屋原育子

「おばさん、合格しました。自信がなかったので、発表を見るまでようお話しをしませんでした。遅くなりましたが、昨日合格の発表があつて。」と受話器の向こうから弾んだ声が聞こえて来ました。

私も思わず嬉しくて、「おめでとう。よくがんばったね。これからはしっかり勉強してね。」とはげました。

T君は二十六才。学校を卒業して自分では最初から保育士になりたい希望を持っていましたが、まわりから反対されて、普通の会社に就職しました。昨年秋までサラリーマンだったのですが、突然会社を辞め、鳥取保育専門学校を受験すべく勉強を始めたのです。

ところで私の息子も昨年の春会社を辞めて、岡山大学の夏季講座を一ヵ月受け、社会教育主事の資格を取り、七月に自分の地区の公民館に勤務するようになりました。地域の子ども達と真剣に向き合いたいという希望からでした。

そのことも影響したのかもしれませんが、本来自分も同じ夢を持っていたT君。自分も子どもに関わる職業につきたいという夢をかなえたのです。T君は、子ども達にゲームを教えて、一緒に遊んだりするのがとても得意です。普段はわりと無口でぶっきらぼうですが、子どもと一緒にゲームをして遊ぶ時の彼の顔は、まるで違う生き生きとした顔つきなのです。

息子は高校から大学まで、T君は中学から高校三年まで、私が代表をしているジュニア・リーダーズクラブの仲間同志です。



ジュニア・リーダーズクラブとは、全国子ども会連合会の中の組織です。ジュニア・リーダーと呼ばれる中学生から高校三年生までの子ども達が、地域の子ども会活動の中でリーダーとして活躍するために、様々な体験を積み重ね、学びながら自主性・積極性・気配り・優しさを学んでいくことを目的とし

ており、そういった目標を持って日頃から集まって活躍しているグループです。

子ども達とクリスマス会でゲームを指導したり、クラフトを作ったりするうちに、自分も純粋な気持ちで子ども達と楽しく接することに喜びを感じ、精神的に成長してきたのでしょうか。そして、この気持ちをもっと高め、集団で遊ぶ楽しさを幅広く子ども達に伝えようとしているのでしょうか。

現在クラブの中で活動している子ども達の中にも、将来保育士になりたいという夢を持ちはじめた子どももいます。

私は、このように、子どもに関わる喜びを経験しながら、様々な夢をふくらませて成長していく子ども達を育てることに生きがいを感じています。

皆さん、お元気ですか

清水成真

先日2月14日(土)に研修会を開催致しました。10名の参加者で、内容は「今、自分の思っていること」と題し、一人10分間程度話を致しました。それぞれが、青少年の健全育成に対しての熱い思いを語りあいました。当日は、県民会議の西田先生もお忙しい中都合をつけていただき、ご挨拶をいただきました。また、現在受講中の川口誠さんが、岩崎清江さんと一緒に参加してくださいました。

その後、近くの居酒屋で懇親会を開催し本当に楽しい研修会となりました。

さて、話は変わりますが、2月28日(土)～29日(日)にかけて、第9回中国・四国青少年育成アドバイザー研究集会が徳島県の穴吹町において開催され、合計9名徳島県に行ってまいりました。

記念講演では、岸田カウンセリング研究所代表の岸田博先生が、「青少年の心を紡ぐアドバイザーの役割」と題し、人間観・人間関係を創るためにはどうすればよいか、そしてそれを効果的に行なうにはどうすればよいか等ユーモアを交えながら講演をされました。中でも「いつの世にも、変わるものと変わらないものがある」という言葉は、心に残っています。

裏面に続く

その後、神山町国際交流協会の大南信也氏に「すきな場所をすてきな場所に」という題で講演をいただきました。本当に面白く心に残るお話でした。そこで、次の日にみんなで神山町に行こうということになり、大南氏に会いに行き、話の中で紹介された廃校を美術館にされたところを見学しました。とてもすてきな所でした。

行きの道中でも帰りの道中でも、色々ハプニングがあり、この中では語るができず残念ですが、本当に大爆笑の一泊二日でした。楽しい思い出をありがとうございました。

なお、この時に、昨年度開催した鳥取大会の報告書を持って行き配ってまいりました。井上廉女さんが、一年以上かけてテープおこしをされた全100ページにもおよぶ報告書です。素晴らしい報告書です。一冊が重いので、今度の総会でお配りしたいと思います。是非参加して下さい。

平成16年度の中国・四国大会は、2004年10月30日(土)～31日(日)にかけて、島根県金城町において開催される予定となっています。是非ご参加下さい。何はともあれ、参加しなければ分からないことがたくさんあります。今回は残念ながら参加できなかった方は、是非行ってみましょう。

ありがとうございました。



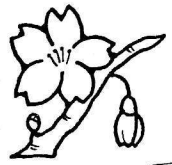
第9回青少年育成アドバイザー 中国四国大会に参加して

西浦公子

第9回青少年育成アドバイザー中国四国大会が、徳島県穴吹町で開催され、参加しました。

中四国大会の研修会は、岸田博氏(岸田カウンセリング研究所代表)の講演で始まりました。演題は「青少年の心を紡ぐアドバイザーの役割」でした。講演中メモを取った言葉は「一人称で話しましょう。」「自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の言葉で話しましょう。」「知識は他人の考えだから、人を傷つける可能性がある。相手の心を慮る(おもんばかり)ことをしよう。」「善魔(暖かい心で余計なおせっかいはする人のこと)にならないように。問題行動の奥にその人がいる。その人と接し、その人を認めよう。これが本当の暖かさ。」「人の話しは、話されたとおりに聞く。先入観、思い込みで聞かない。」などでした。

そして、もう一人の講師は徳島県神山町国際交流協会会長の大南信也氏で、講演は「すきな場所をすてきな場所に」でした。市町村合併問題で、人口8000人の小さな山間地神山町が、自分の町を活性化するために取り組んだのは、海外から芸術家を呼ぶ「神山国際文化村」作りでした。



講演の中でメモをした言葉は、

「出来ない理由を探すより、出来る方法を!!」

「『知る』ということは、ガンの告知のようなもの。知ればカラッと自分が変わる。」

「過去の経験にとらわれると行動できない。不可能を可能にする行動をする。」

「～だから仕方ないではなく、仕方はあると考える。」

「見方によって見え方が変わる。」

「アイデアキラーにご注意。」

「すきな場所に『て』加えて、すてきな場所に」などでした。

出来た作品を展示するために、休校中の中学の二階を工事費5万円で展示館にしておられ、「徳島の神山」から「せかいのかみやま」になりつつあるとのことでしたので、早速帰りに見学させていただきました。展示してあった作品は、「おお～!!すごい～!!」でした。

1年に1回の中国四国大会は、各県の情報交換の場であり交流の場です。第10回は、10月30・31日、島根県金城町で開催されます。是非みんなで一緒に参加しましょう。



編集後記

あちこちから春の香りがしてきます。卒業・進学・就職など、新しい試練に立ち向かっている人も多くいらっしゃることでしょう。

この頃の私を支えてくれている言葉に「ここを乗り越えたら、少しは成長できるかも」というのがあります。やれやれと一息つく間もなく、新たな宿題が出される日々ですが、楽しみながら挑戦したいと思います。

今年度も通信にご協力いただきありがとうございました。